



—北アフリカ地域ニュース—

エジプト：アーキフ・ムスリム同胞団最高指導者の留任否定表明
(3月26日付アル・モスリ・アル・ヨーム紙)

26日付、現地独立系日刊紙アル・モスリ・アル・ヨーム紙はアーキフ・ムスリム同胞団最高指導者の留任否定表明等について報じている。概要は以下の通り。

1. アーキフ最高指導者の留任否定表明

アーキフ・ムスリム同胞団最高指導者は、2009年末の任期終了後、二期目に最高指導者職に留任する意図がないことを明らかにした。アーキフ最高指導者は、アル・モスリ・アル・ヨーム紙への特別声明において、自分は後数ヶ月で最高指導者を退く、規則では認められているが、二期目に留任する事を拒否すると述べた。

2. 新最高指導者選出のための選挙

カマール・エル・ヒルバーウィー在欧洲同胞団幹部は、同胞団は新最高指導者選出のため選挙の実施を決心したと述べ、立候補条件について以下の通り述べた。

- (1) ①7年以上同胞団のメンバーである事、②同胞団シューラー評議会が立候補に同意する事、の2点を満たす者は誰でも立候補できる。
- (2) エジプト国外在住の同胞団メンバーであっても立候補できる。
- (3) 65歳を超える者は、立候補しない事を希望する。

【補足情報】

ムハンマド・マグディー・アーキフ Mohammed Mahdi Akef

ムスリム同胞団指導者

1928年生まれ。

学歴：1951年アイン・シャムス大学卒

職歴：1940年ムスリム同胞団入団

1954年逮捕—1974年出獄

1987年同胞団指導部メンバー

1987年国会議員

1996年禁固3年の刑を宣告される

1999年出獄；2004年1月—ムスリム同胞団暫定指導者

2009年3月、2009年末からの二期目の最高指導者職につく考えがないことを表明

備考：20年服役。既婚、子供4人。ムスリム同胞団の中間世代